

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、12～19℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週の75%（前年を上回った）。五島奈留地区では、ゴマサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の2.3倍（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり5トンの水揚げ（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり58kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.4トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり782kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり251kgの水揚げ。対馬西岸地区では、メジナなどが1日1統当たり46kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり55kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり403kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/15～1/20の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は隠岐諸島北側～佐渡沖及び八戸沖に出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島～佐渡沖～酒田沖。

鳥取県西部（沖合船）4日延15隻、総計679箱、1航海最高134箱、平均45.3箱。スルメイカ（20～25入）593箱、ケンサキイカ（20入）86箱の混獲となった。山陰沖では隠岐諸島周辺でスルメイカとケンサキイカの混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>